

講義名	ホスピタリティ英語			授業形態		
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
海外から来日する外国人の数は増加しており、私たちの日常生活において海外からの観光客を目にする機会も増えています。そのような状況で仕事の場面を中心とした英語によるコミュニケーションの訓練を場面ごとに入門的・実践的に行います。						
到達目標						
・ホテル・航空・テーマパークといった産業・場面ごとに必要な英語表現が適切に使えるようになる。 ・観光分野でよく使われる単語が適切に使えるようになる。 ・ロールプレイングによって、実践的なコミュニケーションが行えるようになる。						
提出課題						
・オンライン/オフラインでの課題提出を求めることがあります。 ・ペア（グループ）ワーク（複数回） ・小テスト（複数回）						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
提出課題については講義内で確認します。小テストについて、解答後ただちにスコア等がオンラインで確認可能。						
評価の基準						
授業中の活動状況15％・ペア（グループ）ワーク15％・小テスト10％・定期試験60％						
履修にあたっての注意・助言他						
テキストは必ず購入してください。 授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語いおよび文法）を高めるよう努力してください。 規定以上の回数欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。 講義外での学習・受験も必要です。						
教科書						
ホスピタリティ・コミュニケーション―実践形式で学ぶおもてなし英語―		仁科恭徳 / 中西のりこ 編著		三修社	2200	9784384334777
参考図書						
なし。						

授業中・あるいはLMSで適宜資料を配布します。	
授業計画	
1. ガイダンス・Unit 9（ホテル業務内容） 予習内容：指定教科書を入力し、シラバスをよく読む。教科書「はじめに」に目を通しておく（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 2. Unit 9（ホテル業務内容） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 3. Unit 10（料飲部門） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 4. Unit 11（トラブル発生） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 5. Unit 12（ホテル業界就職活動編） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 6. ペアワーク作業・Unit 1（接客コミュニケーション） 予習内容：指示された準備を済ませる（120分）。 復習内容：指示された課題を進める（120分）。 7. ペアワーク発表・Unit 1（接客コミュニケーション） 予習内容：発表用データを完成させる（200分）。 復習内容：発表したデータを見直す（40分）。 8. Unit 1（接客コミュニケーション） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 9. Unit 2（案内サービス） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 10. Unit 3（LCCとFSC） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 11. Unit 4（前掲書籍の航空会社） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 12. Unit 5（チケット販売） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 13. Unit 6（アトラクション）・グループワーク（1） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 14. Unit 7（トラブル発生）・グループワーク（2） 予習内容：教科書 Section Aに目を通し、指示された課題を済ませる（60分）。 復習内容：教科書 Section Bの確認・音読練習（180分）。 15. グループワーク（3） 予習内容：発表用データを完成させる（200分）。 復習内容：発表したデータを見直す（40分）。	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習） ウ：ディスカッション、ディベート オ：プレゼンテーション キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） エ：グループワーク カ：実習、フィールドワーク
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
場面ごとに適切なやり方で「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」ことを目指し、「顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力」の修得を目指します。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
教材配布・小テスト・期末試験の実施にはLMSを利用する予定です。	
実務経験の有無及び活用	
備考	